

IPF JAPAN 2026



日本最大のプラスチック・ゴム専門展示会

出展対象

- 原材料** バイオプラ、リサイクルpla、フィラー、添加剤
- 機械装置** 成形機、成形関連機器、3Dプリンタ、二次加工機
- 機械部品** ヒーター、モーター、配管機器具、センサー、制御装置
- 金型** ホットランナー、金型パーツ、金型材料
- 工場設備** ロボット、自動化、マテハン、保管、クリーンルーム、省エネ
- 工場・機械向けIT技術** ERP、MES、IoT機器、AI、CAD/CAM、解析
- 成形加工・製造技術** プラスチック製品製造、金型製造
- コンポジット** FRP、CNF、バイオ素材
- ゴム**
- 発泡**
- リサイクル**

出展申込締切 2026年4月1日(水)

※満小間になり次第、受付終了

国際プラスチックフェア協議会

03-6273-2966 office_ipfjapan@ipfjapan.jp



日本最大 プラスチック・ゴム専門展示会

出展案内

全館プラ&ゴム 幕張メッセ1-8ホール

3年に1度の開催 2026年12月1日(火)-5日(土)



重点
募集

次世代材料

バイオpla、コンポジット

ものづくり新技術

工場・機械向けIT技術、AI技術



IPF
JAPAN
2026

日本最大の プラスチック・ゴム 専門展示会 IPF JAPAN

とは

- 01** バラバラの産業分野が混在する異業種混合の展示会ではない!
来場者 38,115人* **出展者 853社***
の全てがプラ&ゴム関係者
- 02** 日本に居ながら海外企業や海外代理店候補にリーチ!
日本企業の製品・サービスを探しに来日する
40か国 **4,051人*** の海外来場者
- 03** 複数の業界ユーザーへ効率的にPR!
自動車、包装、電機、医療、雑貨、リサイクル、
あらゆる業界のユーザーが集結

出展申込締切

2026年4月1日(水)

*満小間になり次第、受付終了

ものづくりの展示会として日本最大級の規模!

04

幕張メッセ1~8ホール
を全館埋める2,572小間*

対象はプラスチックとゴムに関わる全て!

05

原材料や射出、押出、ブロー、熱成形、金型
からリサイクルまで、あらゆる加工技術・関連
装置が集結

非営利団体による主催・運営だから実現できる料金体系!

06

1小間 (約9m²) **25~30万円 (税別)**
受託加工業者にはさらにお得なプランも

*数値は前回IPF Japan 2023実績

目次

04-05	IPF Japan 来場者の特長	10-17	出展料金	30	開催概要／スケジュール
06-07	IPF Japan 出展者の特長	18-19	来場動員	31	よくある質問
08-09	前回出展者リスト	20-29	前回来場者抜粋		

日本最大のプラスチックとゴム専門展示会

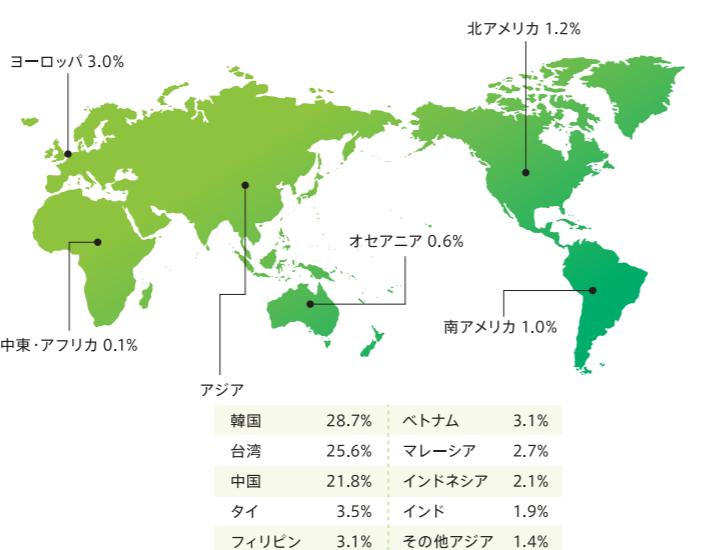
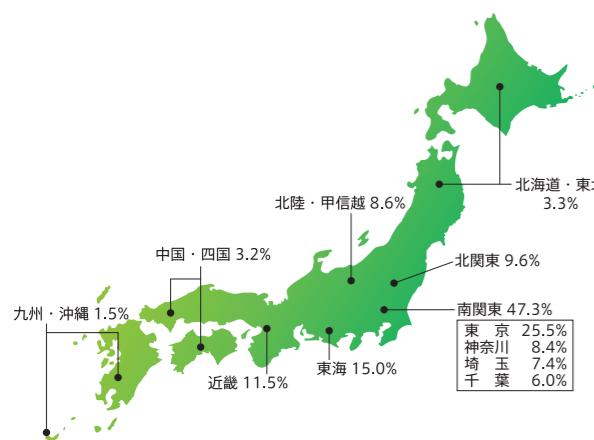
IPF Japan の来場者

来場者 38,115人

日付	国内	海外	計
11月28日(火)	5,146人	1,201人	6,347人
11月29日(水)	6,847人	1,234人	8,081人
11月30日(木)	7,706人	922人	8,628人
12月1日(金)	10,733人	475人	11,208人
12月2日(土)	3,632人	219人	3,851人
合計	34,064人	4,051人	38,115人



*日毎のユニークな来場者数。粉飾・水増しなし。

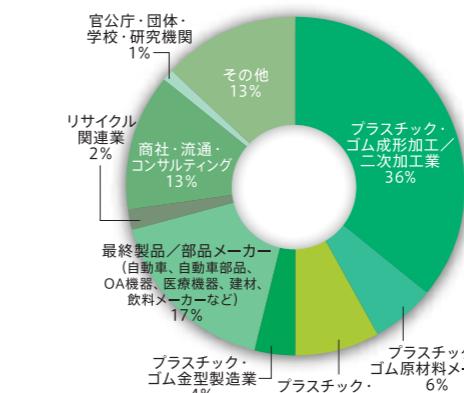


前回 (IPFJapan2023) の来場者リスト (抜粋) を掲載

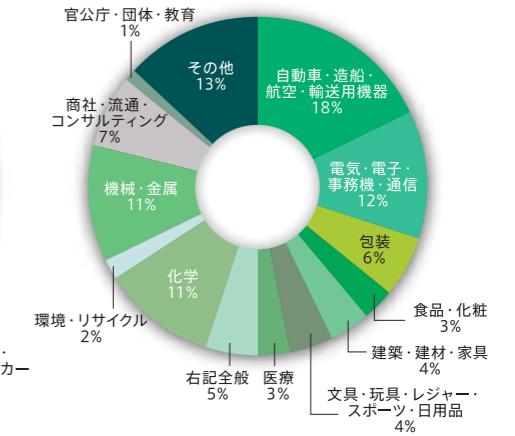
p.20-29

来場者の属性

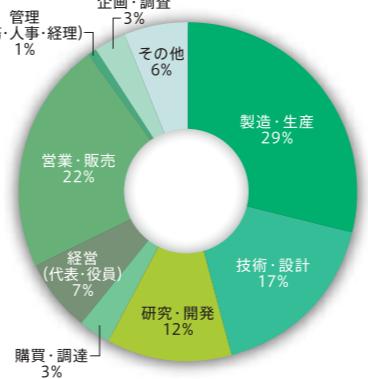
貴社の業種は?



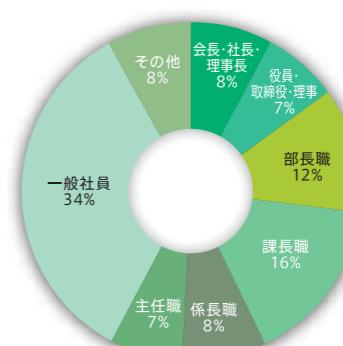
貴社の業界は?



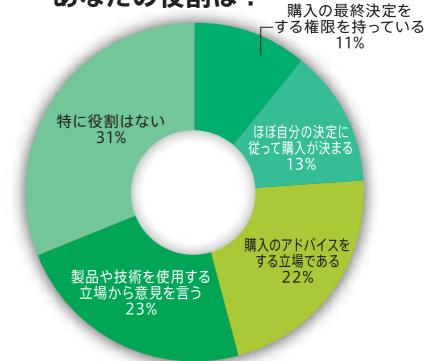
あなたの職種は?



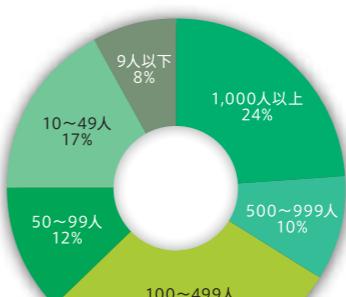
あなたの役職は?



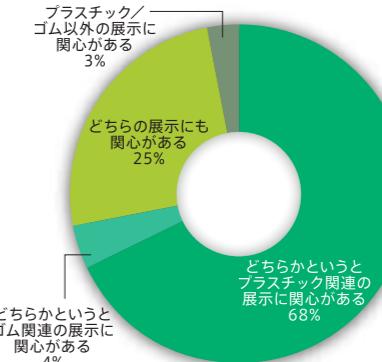
設備・機械の導入に関して
あなたの役割は?



勤務先従業員数



来場目的は?



来場者の声

- 規模が大きくて展示ブースが多くて良かった。
- 実際に機器が動いているのが見れた。
- 通常見れない展示が見れた。
- 技術の進みを比べる事が出来た。
- リサイクル関連で発見があった。

- 実際に商品が見て良かった。
- ホームページには無い情報も得られた。
- 技術的なディスカッションができた。
- 技術担当と営業担当の双方から話を聞けるのが良い。
- 新しい会社と出会えた。

- 導入の検討材料になった。
- 面白い材料があった。
- すごく活気があった。
- 会場が広くて見やすい。
- 海外のメーカーと交流できた。

日本最大のプラスチックとゴム専門展示会 IPF Japan の出展者

開催規模 前回 (IPFJapan2023) 実績

出展者 853 社／団体
(国内: 548、海外: 305)

小間数 2,572 小間

単独展、全てがプラ&ゴム関連の展示。

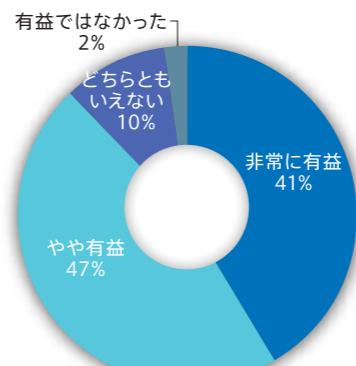
出展者の声

- 6年振りだったので来場者数は期待していたが、予想以上の結果に繋がっている。
- 客先の熱量が高い。
- 新規のお客様が出来た！
- 海外来場者が多く、周知出来た。
- (来場者と)実りある話が多い。具体的な商談が出来た。
- テーマを明確にしているため、それに沿った問い合わせをもらえた。
- 伝えたい事が訪問者に正確に伝わった。
- 新しい機械を多く出展できたので、みんな関心を持っていた。
- 招待状送付先の来訪が増加した。

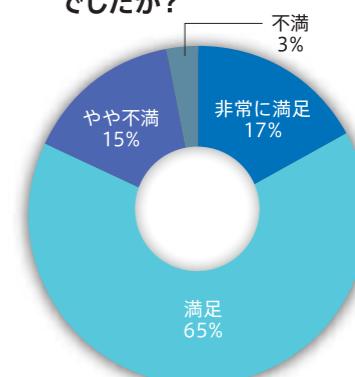


出展者アンケート

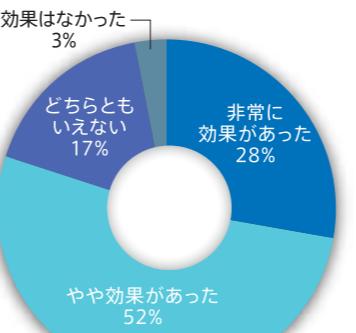
出展は有益でしたか？



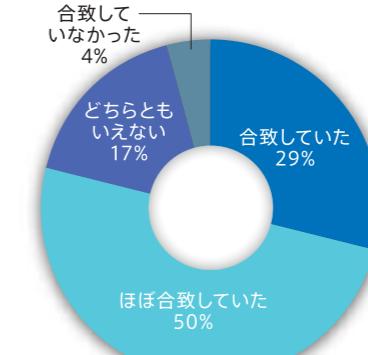
商談の成果は満足いくものでしたか？



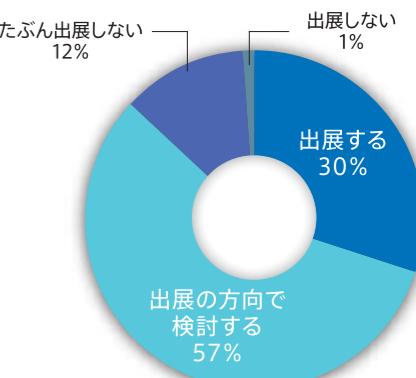
出展によるPR、販売促進効果は実感できましたか？



来場者は貴社の対象に合致していましたか？



次回の出展参加についてはどのようにお考えですか？



前回 (IPFJapan2023) 会場マップ 2,572 小間 (会場面積54,000m²)



標準小間

出展スペース料金 1小間約9m²あたり

	単価	消費税(10%)	1小間あたりの料金(税込)
1-3小間	¥300,000	¥30,000	¥330,000
4-8小間	¥280,000	¥28,000	¥308,000
9-11小間	¥260,000	¥26,000	¥286,000
12小間以上	¥250,000	¥25,000	¥275,000

例) 小間数ごとの出展スペース料金

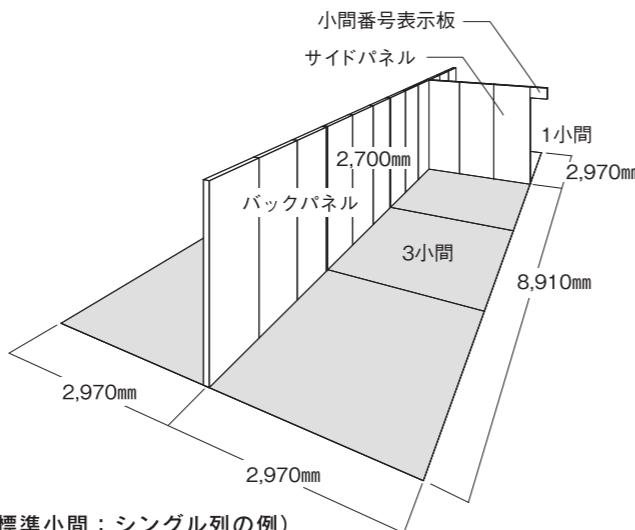
3 小間(約27m ²)	¥330,000 × 3 小間 = ¥ 990,000(税込)
6 小間(約54m ²)	¥308,000 × 6 小間 = ¥1,848,000(税込)
9 小間(約81m ²)	¥286,000 × 9 小間 = ¥2,574,000(税込)
15小間(135m ²)	¥275,000 × 15小間 = ¥4,125,000(税込)

1小間 間口2.97m(W)×奥行き2.97m(D)【約9m²】※12小間以上の独立小間(隣接する小間がない小間)の場合3m(W)×3m(D)【9m²】

隣接する小間がある場合、境界を仕切るサイドパネル、バックパネルを主催者の負担で設置します。

※角小間など隣接する小間のない場合、サイドパネルは設置しません。
また、独立小間には仕切り壁は設置しません。

(標準小間: 1小間のイメージ)



(標準小間: シングル列の例)

角小間保証(追加料金不要)

3小間以上お申し込みの場合、小間を2面開放または3面開放にします。
4小間以上の場合は3面開放(シングル列の場合は2面開放になることがあります)、
12小間以上の場合は4面開放になります。

※4月1日(水)までのお申し込みが条件です。4月2日以降のお申し込みの場合、角小間保証は致しかねます。

オプション 装飾パッケージ (参考)

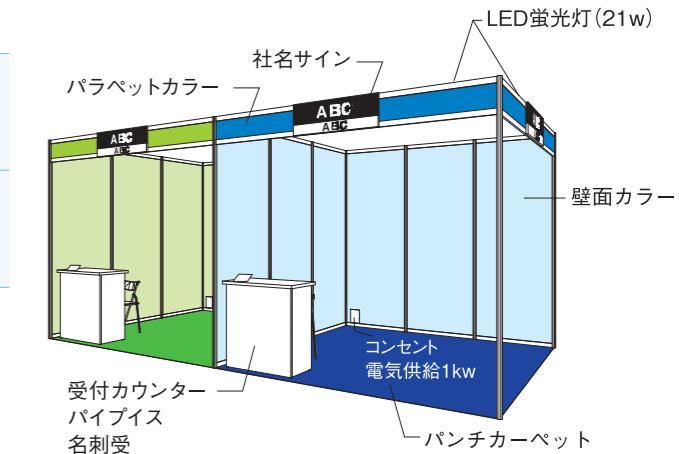
装飾パッケージのお申し込みは7月に開催予定の出展者説明会後に受け付けます。

装飾パッケージ料金(税込)		
	1面開放	2面開放
1小間	¥124,300	¥141,900
2小間	¥202,400	¥220,000
3小間		¥297,000

※出展スペース料金は含まれません。装飾物の施工費用、レンタル費用です。

例) 1小間出展の費用イメージ

スペース 装飾
¥330,000 + ¥124,300 = ¥454,300(税込)



オプション レンタル備品 (参考) ※税込、会期5日間

展示台	棚	応接セット	受付カウンター	折りたたみ椅子	スポットライト
495 1000 500 990	300 990		W900/D450/H750	¥660	LED(15W)電球色 ※幹線工事及び電気料金別途
¥9,900	¥3,850	¥11,000	¥6,600	¥660	¥3,300

受託加工業者はさらに安価に出展可能!

受託加工業者専用小間 プラ&ゴム試作・加工・製造受託エリア



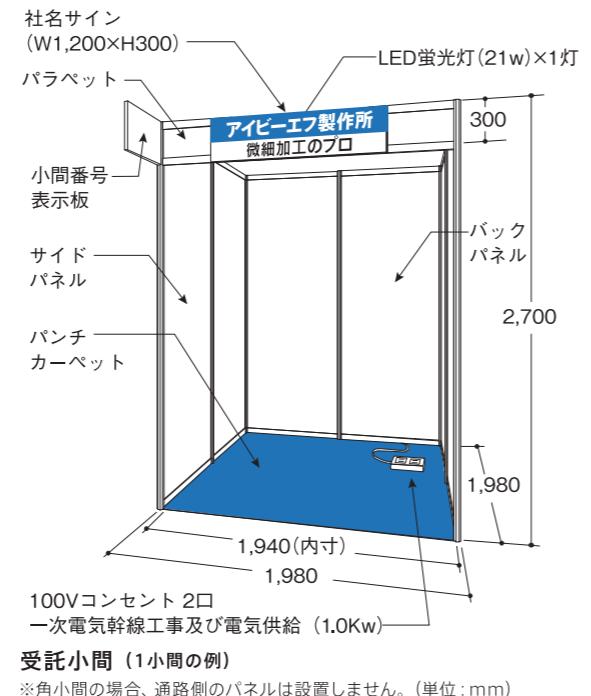
※出展は受託加工業者に限ります。機械・装置メーカーは出展できません。

出展スペース料金 + 基礎装飾

	単価	消費税(10%)	1小間あたりの料金(税込)
1小間 (約4m ²)	¥200,000	¥20,000	¥220,000

1小間

基礎装飾付き 間口1.98m(W)×奥行き1.98m(D)【約4m²】



出展対象

- » プラスチック&ゴム製造に関わる受託型の企業。
- » 自動車、電機、医療機器、食品、建材メーカーなどからの受託を目指すプラスチック・ゴム成形加工業者。

- プラ・ゴム製部品製造業
- 試作品製造業
- 金型製造業
- 金型加工業(研磨、補修など)
- 二次加工業(印刷、メッキなど)
- など

- ✓ 精密歯車ならどこにも負けない。
- ✓ どんな試作品でも一週間で納品できます。
- ✓ 金型の磨きは当社が一番。
- ✓ バイオプラスチックの成形ノウハウあり。
- ✓ 異形や極細チューブなど複雑形状の成形に自身あり。
- ✓ CFRP(炭素繊維強化プラスチック)の実績豊富。
- ✓ 3Dプリントで試作品1点から製作可能。
- ✓ プラスチック加飾は美しさがモットー。
- ✓ 他社が真似できない独自技術がある。
- ✓ 海外にも自社工場があり、現地供給できます。
- ✓ 中国の提携工場で大ロットならお任せ。

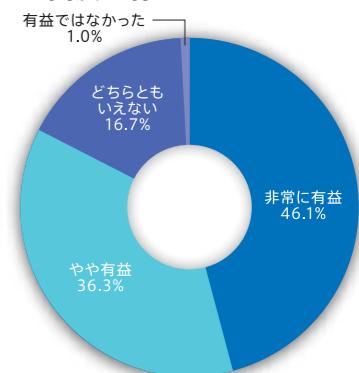
前回実績

プラ&ゴム試作・加工・製造受託エリアに
110社／団体の受託型企業が出展

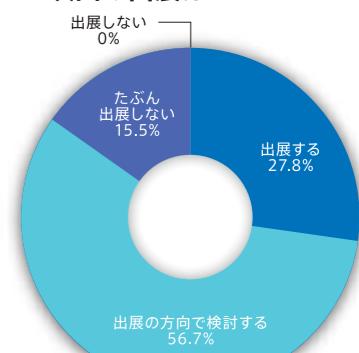
プラ&ゴム試作・加工・製造受託エリア



出展は有益でしたか?



次回の出展は?



業界最大の展示会あなたの技術をPRしてみませんか?
見る展示会から出る展示会へ

- 基礎装飾込み
- 電気供給(1.0kw)込み
- 会期5日間

で出展料金は

税込22万円

税込22万円

で

自動車・家電メーカーなど
38,115人の来場者

に

あなたの技術やアイデアを
売り込むチャンス!

例) 1小間出展の費用イメージ

スペース+装飾

オプション追加(展示台、椅子2脚)

$$¥220,000(\text{税込}) + ¥9,900(\text{税込}) \times 1 + ¥660(\text{税込}) \times 2 = \text{¥}231,220(\text{税込})$$

出展者プレゼンテーション

展示ホール内の専用スペースで、自社の製品や技術をプレゼンテーションできます。

プレゼンの情報は、

✓40万部郵送の案内状や5万部配布のガイドマップに掲載。

✓日本経済新聞や日刊工業新聞、業界誌などに掲載。

開講料金

1セッション30分あたり	料金(税込)
100名収容 スクール形式	¥132,000

※スクリーン、プロジェクター、マイク、スピーカーを含む。パソコンは発表会社にてご用意ください。

開講要領

- プレゼンテーション開催日時は、出展申込締切後に主催者から希望日時のアンケートをお送りし、アンケート結果をもとに主催者にて調整します。開催日時が決定した後に開講料金の請求書をお送りします。
- 1出展者あたり1日最大2セッションまでお申し込みいただけます。



受講受付

- 受講者の受付は発表会社自身で行ってください。
- 資料の準備、配布などは発表会社ご自身で対応していただきます。

※プレゼンテーションスペースへの入退場の案内をするサポート要員は主催者の負担で配置します。

ポスタースタンド

低コストなPRツールとして

✓「出展したいが人手が足りない。でもビジネスチャンスは逃したくない。」という方にも有効なPR手段です。

自社ブースへの誘導ツールとして

✓標準小間／受託加工業者専用小間の出展に加えてポスタースタンドの申し込みもできます。広い会場の中で自社ブースへの案内看板としても活用できます。

●自社の小間位置が確定する2026年7月2日以降でも申し込みいただけます。

料金

1枠あたりの料金(税込)	
ポスタースタンドのみ	¥165,000
標準小間／受託加工業者専用小間に追加	¥110,000



※チラシ・製品パンフレット・ビジネスカード等を配布することができます。補充は事務局が行います。
※無人のコーナーです。説明員を常駐させることはできません。
※上図の青色で示した範囲内(H120cm×W90cm)であればパネル貼付など自由にご活用いただけます。
※成形サンプルなどを置くこともできます。ご希望の場合は事務局までご相談ください。
※来場者の名刺回収はいたしません。

ガイドマップ広告

IPF Japan 公式ガイドマップに広告を掲載できます。

ガイドマップは日本語版と英語版の2種類を製作し、会場マップや出展者リストなどを掲載します。

✓全ての来場者が手にする5万部配布のガイドマップに掲載。

広告掲載料金

掲載場所	ガイドマップ言語	
	日本語版(税込)	英語版(税込)
表2	¥550,000	¥275,000
表2対向	¥550,000	¥275,000
表3	¥330,000	¥165,000
表3対向	¥330,000	¥165,000
表4	¥660,000	¥330,000
前付	¥330,000	¥165,000

※印刷用データをご用意ください。
※広告のデザインをお受けすることもできます(有料)。

ガイドマップ発行要領

発行日	2026年12月1日(火)
体裁	A4判
印刷色	4色カラー
発行部数	日本語: 50,000部 英語: 5,000部
配布方法	現地入場口で無料配布
構成	会場マップ 出展者リスト プレゼンスケジュール

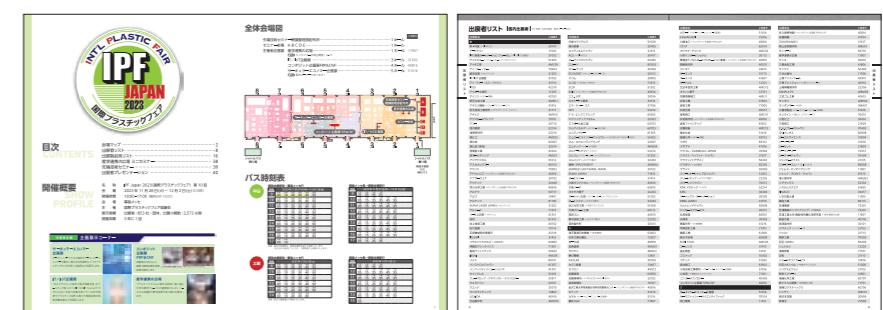
ほか

ガイドマップ見本



表紙

表2／表2対向



目次／会場案内

出展者リスト

公式webサイト バナー広告

webサイトトップページの目立つ場所にバナー広告を掲載できます。

- ✓会期中は毎日1万を超えるユーザーがトップページを閲覧。
- ✓来場者登録は全てトップページを通過。



広告掲載料金

1枠あたり	料金(税込)
日本語／英語ページ共通	¥440,000

限定8社

広告掲載期間

2026年5月1日～2027年12月末

※日本語ページと英語ページの両方に掲載。

広告掲載要領

- バナーのデザインは、出展者または製品のロゴで主催者の認めたものに限ります。
- 1出展者あたり1枠まで申し込みます。
- データ形式はJPEGまたはPNG形式の静止画。表示サイズはW147px × H110pxです。
- 申し込みが8件を超えた場合は、出展申込締切後に主催者による抽選を行い、掲載者を決定します。
- バナー広告は1アクセスごとに表示場所が入れ替わります。
- バナーに埋め込むURLは、任意のものを指定できます。

メールマガジン広告

国内の業界関係者約7万人に毎月配信するメールマガジンに広告を掲載できます。

- ✓過去のIPF Japan来場者を中心に国内のプラスチックとゴム業界関係者約7万人へ配信。
- ✓会期前に広告を掲載し「見どころ情報」を事前に広くPRして、ブース来訪を促します。

広告掲載料金

掲載位置	掲載枠	料金(税込)	掲載コンテンツ
トップバナー	1配信1枠	¥330,000	画像、短いテキスト
記事広告	1配信1枠	¥275,000	画像、テキスト

配信要領

配信数 約7万件 (前回までのIPF Japan 国内来場者及び出展関係者など)

配信日 毎月1回、第二週の火曜日に配信

会期前のブースPRに 会期後のフォローアップに

※会期前後の配信予定日: 9/8 (火)、10/13 (火)、11/10 (火)、12/8 (火)

申し込み方法 事務局へメール (office_ipfjapan@ipfjapan.jp) にてご連絡ください。
先着順で受け付けます。

メールマガジン配信サンプル



トップバナー

記事広告

主催者企画セミナー

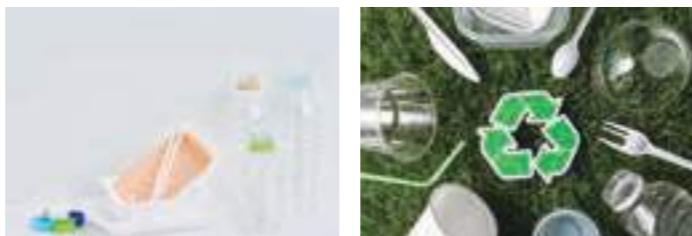
目的意識の高い来場者を動員するために、日替わりのテーマを設定してセミナーを開催します。業界のキーマンをスピーカーとして招聘し、東京まで出張しても聞き逃したくない内容とします。



主催者テーマパビリオン

先端技術や優れた技術を持つ学術機関や研究機関、業界団体等とコラボレーションしたテーマパビリオンを設けます。業界の未来を表現し、東京まで出張しても見逃したくない内容とします。

※テーマは計画中のものです。予告なく変更することがあります。



広報・宣伝

徹底した広報宣伝活動により、国内外より幅広く来場者を動員します。

新聞・雑誌広告によるPR

- 日本経済新聞
- 日刊工業新聞
- 11の海外誌
- 日経電子版
- 11の専門紙、関連誌

※IPF Japan 2023 実績



ダイレクトメールによるPR

過去のIPF Japan 来場者へ案内状を郵送。

EメールによるPR

国内外のIPF Japan 過去来場者及び関係者へ案内メールを送付。開催までの期間、継続的にメールマガジンを配信し、来場意欲を高めます。



展示会出展によるPR

国内外の展示会に出展し、広報宣伝活動を実施。
K (ドイツ)、NPE (アメリカ)、CHINAPLAS (中国)、TaipeiPLAS (台湾)、
PLASTINDIA (インド)、名古屋プラスチック工業展 (日本) など



海外来場者誘致

ASEAN諸国からの団体視察ツアーを企画。キーパーソンを招待。

The Indonesian Olefin, Aromatic & Plastic Industry Association (インドネシア)、
Philippine Plastics Industrial Association (フィリピン)、Vietnam Plastics Association (ベトナム)、
Malaysian Plastics Manufacturers Association (マレーシア)など

※IPF Japan 2023 実績

公式webサイトやweb広告、SNSを活用した情報発信によるPR

公式webサイトやGoogle広告、公式SNSを用いて、広報宣伝活動を実施。

土曜日はリクルートも

会期最終日の土曜日 (12/5) には、大学や高専、工業高校などの学生の来場を促し、“リクルートDay”とします。出展者による学生の採用活動の場としてもご活用ください。

前回来場者抜粋

来場者データから主催者にて抜粋

論より証拠! 前回開催時にご来場いただいた方々の会社名と部署名です。

来場者
業界目次

20-23

自動車・航空・輸送用機器

23-25

電機・事務機・通信

25-26

包装・容器

26

食品・化粧

26-27

医療

27

建築・建材・家具

27-28

工業部品・産業資材

28

文具・玩具・レジャー・スポーツ・日用品

28-29

化学

29

機械・金属

29

環境・リサイクル

29

官公庁・団体・教育

前回来場者抜粋

前回
2023年
開催実績

社名	所属部署／国	社名	所属部署／国
川崎重工業	岐阜工場 生産企画部 生産技術課	スミダ電機	精密加工技術 開発管理センター
カワサキモータース	生産本部 生産技術部	住電装プラテック	製造技術部
ギーパー	御殿場工場 技術課	住電装プラテック	製造部 成形工場
鬼怒川ゴム工業	技術開発部	住友電装	調達本部 ハーネス部品統轄部 ハーネス部品調達部
鬼怒川ゴム工業	調達部	住友電装	コネクタ事業本部 金型設備製造部
鬼怒川ゴム工業	生産技術部	住友電装	コネクタ事業本部 ゴム技術部 ゴム技術グループ
岐阜プラスチック工業	設計開発部	住友電装	調達本部 調達統轄部 設備・補材調達部
岐阜プラスチック工業	本社工場 生産技術部	住友電装	コネクタ事業本部 機器部品技術部
キャム	技術部 自動車チーム	住友電装	電子事業本部 生産技術部
京三電機	九州工場 製造課	住友理工	モノづくり研究所
協和	結城製造部 生産技術課	住友理工	研究開発本部 材料技術統括部
共和レザー	織山工場 製造部	積水テクノ成型	車輌部品愛知製造部 生産管理課
クミ化成	技術開発部	ソミック石川	鶴見工場 技術員室 樹脂グループ
クミ化成	三重工場 生産課	タイガースポリマー	開発研究所 機能設計研究室
小糸製作所	開発技術本部 技術部 生産技術課	タイガースポリマー	開発研究所 自動車部品開発室
小糸製作所	調達部	タイガースポリマー	購買部
小糸製作所	生産技術部	タイガースポリマー	岡山工場 製造部
興國インテック	部品製造部 部品技術課	タイガースポリマー	技術本部 成形技術部 成形技術グループ
興國インテック	生産設備研究所	ダイヨーニシカワ	R&D本部 研究開発部 先行技術開発グループ
興國インテック	宇都宮工場 生産技術課	ダイヨーニシカワ	R&D本部 研究開発部 外装開発グループ
興國インテック	蒲原工場 購買開発	ダイヨーニシカワ	購買本部
興國インテック	資材部	ダイヨーニシカワ	製造本部 西浦工場
コジマ	部品事業部 工法・設備開発課	大同工業	先進技術センター
コジマ	成形部	大日本印刷	モビリティ事業部 開発本部 開発部
小島プレス工業	生産技術部 工法開発室 工法開発課	ダイハツ九州	生産技術部
小島プレス工業	研究開発部 研究室研究課	ダイハツ工業	車両開発部
小島プレス工業	材料技術部 基礎研究課	ダイハツ工業	製品企画部 原価企画室
小島プレス工業	インテリア開発設計部 アリ・トリム領域室	ダイハツ工業	車両生技部 化成生技室
小島プレス工業	インテリア開発設計部 加飾領域室	高岡工場 製造技術部	太平洋工業
児玉化学工業	埼玉第一工場 製造技術部 生産技術課	高岡工場	北大垣工場 製造部
カガワ理研工業	生産準備課	児玉化学工業	樹脂技術部 設計開発グループ
坂本工業	開発センター 生産技術部	大農工業	生産技術部
三桜工業	生産統括本部 生産ユニット	大農工業	金型技術支援部
三桜工業	技術本部 製品開発部	大宝工業	製造工場 新素材・新技術開発室
三恵技研工業	技術本部 設計部	大和化成工業	購買部 資材購買課
三恵技研工業	群馬製作所 開発本部	大和化成工業	生産準備課
三恵技研工業	群馬製作所 生産技術部	大和化成工業	企画開発課
三恵化成	安濃工場 生産技術課	大和化成工業	工法開発課
三光化成	一関工場 技術課	タカギセイコー	製造部
三光化成	弘前工場 設備技術課	タカギセイロー	新湊工場 技術部
三光化成	広島工場 生産課	タカギセイロー	先端技術開発センター
三光化成	伊勢崎工場 オート内外装ビジネスユニット 生産技術部	タカギセイロー	水見工場 製造課
三光化成	静岡工場 オート機能ビジネスユニット	タカギセイロー	水見工場 製造技術課
三光化成	技術本部 次世代技術部	タカシム	弘前工場 製造部 成形グループ
三光化成	富山工場 情報電子ビジネスユニット 製造課	金型設計部	金型設計部
サンデン	購買ユニット 開発購買セクション	千代田製作所	購買部
GSユアサ	自動車電池事業部 技術部	千代田製作所	生産技術本部 成形生産技術部 成形生産技術課
ジェイテクト	生産技術本部 素形材革新部 滲体成型技術室	津田工業	シフトレー事業推進部
ジェイテクト	生産技術本部 生産技術管理部	椿木チエイン	パワートラシステム統括 チェーン事業部 製造技術部
ジェイテクトコラムシステム	システム生産技術部	椿木チエイン	グローバル製造統括 製造部
ジェイテクトコラムシステム	本庄工場 製造部	椿木チエイン	ケーブルベイ製造エンブラ成形係
ジエー	生産推進部	TE Connectivity Japan	自動車事業本部 技術開発本部 製造技術モールド開発部
シマノ	生産技術部	TE Connectivity Japan	購買部
シマノ	調達部	TPR	技術センター 技術開発部
シミズ工業	設計部 外装設計課	ティ・エスティック	開発・技術本部 開発試験部 マテリアル開発課
ジャパン マリンユナイテッド	研究開発部 先行開発課	ティ・エスティック	生産本部 金型技術部 INJ技術課
ジムコ	技術部 成形技術開発課 射出成形係	ティ・エスティック	生産本部 機種計画部 新機種企画課
昭和飛行機工業	購買部	ティ・エスティック	生産本部 生産技術開発部 加工技術開発課
新光ヌームブレート	技術部	デービー精工	成形事業推進グループ 成形事業係
新明和工業	生産調達部	デービー精工	香寺工場 工作部 成形課
スズキ	横浜研究所 未来技術研究開発部	デルツ工業	ディバイス開発部 部品設計課
スズキ	マリニ事業本部 マリン技術部	天昇電気工業	購買部
スズキ	西湖工場 樹脂グループ	天昇電気工業	福島工場 生産課
スズキ	環境・材料・生産技術開発部 樹脂材料・機器分析グローブ	天昇電気工業	埼玉工場 技術本部 技術部
スズキ	四輪車両技術本部 四輪車体設計部	天昇電気工業	海外事業部
スズキ	生産本部 塗装生産部 樹脂グループ	天昇電気工業	三重工場 生産課
スターイト工業	新歩進ニット 先進材料開発チーム	デンソー	大安製作所 生産技術開発室
スターイト工業	調達部 株式会社 資材課	デンソー	高棚製作所 セーフティシステム製造部 生産技術室
スターイト工業	山口工場 山口製造部	デンソー	材料技術部 環境材料教室
スタンレー電気	生産技術統括部 金型技術部 金型設計課	デンソー	メカニカル・マテリアル調達部
スタンレー電気	秦野テクニカルセンター 自動車技術本部 技術統制課	デンソー	先進モーフィング創出部
スタンレー電気	秦野四輪工場 生産技術課	デンソー	部品加工開発部
スタンレー電気	購買統括部	デンソー	湖西製作所 モータ製造部 部品生産技術課
スニック	技術部 技術課	デンソー	西尾製作所 ポンプ製造部 ポンプ生産技術室
スニック	浜北トリム工場 工務課	デンソー	西尾製作所 サーマル生産技術開発部
SUBARU	ヘリオスター技術部	デンソー	生産本部
SUBARU	電動車両生産技術部 樹脂成形塗装技術課	デンソー	技術グループ 生産技術開発室
SUBARU	調達本部 ボディ調達部	デンゾーワイズテック	生産技術室
SUBARU	技術本部 車両設計室 内外装設計グループ	デンゾーワイズテック	技術部

名 称 IPF Japan 2026 (国際プラスチックフェア)【第11回】

会 期 2026年12月1日(火)~5日(土)5日間

開場時間 10:00-17:00(最終日は16:00)

会 場 幕張メッセ 1~8ホール [展示面積: 約54,000m²]
[千葉市美浜区] JR京葉線 海浜幕張駅(東京駅から30分)

主 催 国際プラスチックフェア協議会

展示規模 出展者: 853社・団体、出展小間数: 2,572小間(前回実績)

入場者数 38,115人 ※出展者の入場は除く。(前回実績)

入場料金 無料(公式webサイトでの完全事前登録制)
※会場での当日登録は登録手数料として5,000円(税込、5日間有効)

開催周期 3年に1回

準備期間のスケジュール

出展申込締切

2026年4月1日(水)

出展スペース料金の支払い期限

2026年5月末日

出展者説明会

(小間レイアウトの発表)

東京会場(品川) 2026年7月2日(木) 15:00-16:00

大阪会場(梅田) 2026年7月3日(金) 15:00-16:00

Q 小間(ブース)の位置は選べるのか?

A 小間の位置は主催者側で決定します。出展企業は小間位置を選択することはできません。主催者は「出展製品の内容」、「出展規模」、「重量物の出展の有無」、「水道・エアー配管工事の必要性」、「競合他社との距離感」等を総合的に考慮してレイアウトを作成します。なお、相対的に「小さな小間より大きな小間の出展者」、「正式な申込み時期が遅いより早い出展者」を優先的に導線上有利な配置になるよう考慮します。出展者は申込時に主催者に対して、小間位置に関するリクエストをすることができます。(詳細は出展申込書をご覧ください。)主催者は出展者からのリクエストをレイアウトの際に参考にしますが、ご要望にお応えすることをお約束するものではありませんのでご了承ください。

Q 出展料金の支払いはいつまでに行うのか?

A 2026年5月末日までにお支払いをお願いします。

Q 前回出展時、IPF協議会に入会して会員料金で出展していたが、今回は会員への優遇措置はあるのか?

A IPF協議会は第10期(2020-2023年)をもって会員制度を廃止しました。これに伴って全出展者一律の出展料金に改定しました。

Q 出展機械を動かすかどうか決まっていない。この場合は出展申込書の設備工事の欄の記入はどうすればよいのか?

A 機械を動かすために、水、エアー等の配管工事が必要な見込みがあれば、申込書の該当項目にチェックしてください。工事を発注する正式な申し込みではありませんので、見込みで構いません。レイアウトする際に水、エアーの供給が必要な小間は取出し口(ピット)からできるだけ近い位置に配置します。

Q ブースレイアウトの確定予定時期はいつなのか?

A 2026年7月2日に東京、同3日に大阪で開催する出展者説明会にて発表します。

Q キャンセルはいつまでできるのか?

A 4月1日(申込み締切日)までキャンセル料はかかりません。できるだけお早めにお申込みいただいた方が、主催者が小間の配置をする際の判断材料として有利に働きます。

Q 重量物(機械等)を展示したいが申請は必要か?

A 5tを超える重量物を展示する場合は、申込書の該当項目にチェックし、想定重量を記入してください。見込みで構いません。

Q 出展スペース料金の支払いはどのようにするのか?

A 出展申込書の到着後、主催者から請求書をお送りします。手形は受け取りできませんので、銀行振り込みにてお支払いをお願いします。詳細は出展申込書記載の出展規約をご確認ください。

Q ブース装飾業者や運送業者は自社で決定してよいのか?

A 指定業者制をとっておりませんので出展者選定の会社に発注することができます。